

人事異動

(平成31年4月1日)

着任	教頭 教諭 教諭 常勤講師 常勤講師 常勤講師 常勤講師 常勤講師	中正佳秀 石山あおい 山口真由 金井修一郎 宮永耕介 八幡優輔 荻野拓哉 那須陽平 馬竹京子	国語 国語 保体 数学 数学 理科 理科 英語	姫路高校より 姫路東高校より 姫路高校より 姫路高校より 夢前高校より 育英高校より 社高校より 姫路北高校より 再採用
離任	教頭 教諭 教諭 教諭 教諭 常勤講師 常勤講師 常勤講師 常勤講師	原和樹 間嶋孝史 岡畠敦子 藤田利和 高畑律明 大崎圭祐 今津章善 吉田恵亮 黒崎佳 長澤花奈	数学 国語 国語 数学 理科 数学 理科 保体 英語	姫路高校へ 姫路市教育委員会へ 飾磨高校へ 飾磨高校へ 退職 市立西宮東高校へ 飾磨工業高校へ 加古川西高校へ 姫路高校へ 民間企業へ

進路状況

普通科71期生・国際文化科14期生
進路結果()内は人数、過年度生含む

お知らせ



琴丘高等学校所蔵
「播磨国惣社臨時大祭礼見聞録」が
姫路市指定重要有形文化財に
指定されました。

主として播磨国総社で20年に一度執行される「三ツ山大祭」に関する享保18年(1733)から嘉永7年(1854)までの江戸時代の記録、及び天保2年(1831)総社御門普請記録、明治6年(1873)一ツ山大祭、明治7年(1874)三ツ山大祭の記録を含んでいます。城下町姫路の祭礼を詳細に記した貴重な資料であり、平成31年3月21日に姫路市文化財保護審議会(学術審議)より文化財の「指定価値有り」との答申が姫路市教育委員会になされ、同年4月18日定例教育委員会で議案可決、翌4月19日姫路市指定重要有形文化財として指定(文化財種別は歴史資料)されました。



寺見和子さんより押絵を寄贈
(昭和30年卒業・第7期生)

押絵と人形の作家としてご活躍の寺見和子さんより、琴丘高校へ素晴らしい押絵の作品を寄贈していただきましたので、ご紹介致します。

作品は本校内にて展示しておりますので、お立ち寄りの際にはぜひご覧下さい。

クラブ活動(主な成績)

運動部成績	
野 球 部	第100回 全国高等学校野球選手権大会 兵庫大会 3回戦
サ ッ カ ー 部	平成30年度 兵庫県高等学校総合体育大会 ベスト16 高円宮杯U-18サッカーリーグ2018西播リーグ1部 優勝 高円宮杯U-18サッカーリーグ2018兵庫県リーグ参入リーグ戦 Aグループ1位(兵庫県リーグ2部昇格) 平成30年度 兵庫県高等学校サッカー選手権大会 ベスト16 平成30年度 後期西播サッカー新人大会 3位 平成30年度 兵庫県高等学校新人大会 ベスト16
女子バスケット部	平成30年度 後期西播大会 Cリーグ 2位 平成30年度 県新人西播地区2次予選Yブロック優勝 県新人大会出場 平成30年度 兵庫県バスケットボールカーニバル西播選抜 2名選出 平成31年度 前期西播大会 Cリーグ優勝 Bリーグ昇格
男子バスケット部	平成30年度 西播大会・県大会 出場
剣 道 部	平成30年度 男子団体戦 2回戦、女子団体戦 県大会出場 女子個人戦ベスト16 2名 平成30年度 姫路市民大会 女子団体戦 3位
陸 上 部	ユース西播予選 男子 3000mSC 5位、走り幅跳び 3位 女子 800m 3位、走高跳 3位 西播新人駅伝 男子7位、女子8位
ソフトボール部	秋季リーグ戦 2位
男子・女子バレー部	西播・県大会 出場
卓 球 部	男子 平成30年度 西播新人戦 団体・ダブルス・シングルス県大会出場 令和元年度 西播総体 団体・ダブルス・シングルス県大会出場
バドミントン部	男子 平成30年度 西播新人戦 男子ダブルス 県大会出場 令和元年度 西播総体 男子ダブルス 県大会出場
男子ソフトテニス部	平成30年度 兵庫県高校総体ソフトテニス大会 団体戦 5位 平成30年度 近畿選手権大会ソフトテニス団体戦 出場
女子ソフトテニス部	平成30年度 兵庫県高校総体ソフトテニス大会 団体戦 9位 平成30年度 近畿選手権大会ソフトテニス団体戦 出場
アーチェリー部	男子 兵庫県高体連 新人アーチェリー競技会 30mダブルラウンド個人3位 女子 兵庫県高体連 新人アーチェリー競技会 30mダブルラウンド団体3位 個人ベスト8
ダ ン ス 部	第11回 日本高校ダンス部選手権大会 近畿・中国・四国予選 Bブロック スモールクラス6位入賞 第11回 日本高校ダンス部選手権大会 全国大会出場
文化部成績	
演 劇 部	高校演劇ショウゲキバトルvol.6 優勝 上演作品「ピロシキ」 西播支部大会 参加「偽りの自分」 高校演劇フェスティバル2019上演「木村に100円返しに行く話」 高校生による演劇公演 参加「ハムレット」
フォークソング部	県総合文化祭 選考会 優秀賞 骨髓バンクチャリティーコンサート 優秀賞
吹 奏 楽 部	西播地区吹奏楽コンクール 高等学校A部門 金賞・代表 兵庫県吹奏楽コンクール 高等学校A部門 銀賞 西播地区アンサンブルコンテスト クラリネット7重奏 金賞・代表 打楽器6重奏 金賞・代表、金管8重奏① 金賞・代表、金管8重奏② 金賞 兵庫県アンサンブルコンテスト クラリネット7重奏 金賞 打楽器6重奏 銀賞、金管8重奏① 銀賞・代表
茶 道 部	平成30年度 兵庫県高文連 茶道部門県大会 優秀賞
放 送 部	NHK杯全国高校放送コンテスト地区大会 朗読部門 佳作 兵庫県高等学校総文祭 放送文化部門 アナウンス部門 佳作
箏 曲 部	兵庫県高等学校邦楽連盟西播支部演奏会 金賞
写 真 部	全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2018」参加
美 術 部	平成30年度 播磨国総社団属デザインコンクール神戸新聞社賞 兵庫県高校総文ポスター原画コンクール 最優秀賞 第24回 杉原紙年賀状全国コンクール 金賞
書 道 部	第47回 全国高校書道展(四国大学主催) 準特選 兵庫県高等学校総合文化祭書道展 特選
図 書 部	ひめじ図書館を使った調べ学習コンクール 奨励賞

8

表紙・題字「しらさぎ会」は
第8代校長 八木初男氏の揮毫による。

vol.5 | 2019.7.1

■編集・発行
姫路市立琴丘高等学校同窓会 しらさぎ会
〒670-0052
兵庫県姫路市今宿668番地
TEL・FAX 079-290-5995
http://www.shirasagikai.com
印刷所：大和美術印刷株式会社

表紙写真提供 / アート写真

ごあいさつ Greeting



琴丘しらさぎ会
第3代会長
三木 英一

薫風香る新緑の美しい好季節を迎えました。御無沙汰していますが、会員の皆様には、各分野において御活躍のことと拝察申し上げます。平素は同窓会の活動に御理解を賜わり感謝致しております。

今年は日本国にとりまして特別な年になりました。平成31年4月30日をもって第125代天皇陛下が御譲位されて上皇様になられ、5月1日に新帝陛下が御即位されて、元号が「平成」から、我が国の誇る国書、万葉集を典拠とする「令和」の御代に替わりました。平成の御代は、日本では戦争こそ無かったですが、大きな自然災害が頻発しました。令和の御代の安寧を願わずには居られません。

さて、我が琴丘しらさぎ会について考えます時、母校の評判は年々良くなり、在校生も元気で学習活動やクラブ活動に励んでいることは、卒業生として大変嬉しい限りです。今後とも学校の御要望に応え、母校の充実と発展を応援して参りたいと存じます。

同窓会は縦糸（先輩・後輩）と横糸（同期生）が織りなす織物であると私は思います。お互いに連帯感を持って、様々な模様の織物を創り出していったほしいと思います。そして、一人でも多くの会員が9月1日(日)の総会に御出席下さるよう期待しています。

最後になりましたが、皆様の後健勝と御多幸をお祈り申し上げるとともに、母校の一層の発展をお祈りして御挨拶と致します。

己亥 令和元年5月1日 識



姫路市立琴丘高等学校
第23代校長
宇那木 隆司

平素より本校教育活動に多大な御支援を賜り厚く御礼申し上げます。
昭和44年に車崎から当地今宿に完全移転してから半世紀が経ちましたが、姫路市やPTAならびに卒業生の方々の御支援により、ここ別所谷に恵まれた教育環境を創ることができ深く感謝申し上げます。

さて、平成31年3月の卒業生をもって大正・昭和・平成の卒業生総数は28,533人となりました。4月には推薦入試で合格した国際文化科40人及び兵庫県公立高等学校第4学区の複数志願選抜で合格した普通科240人、合計280人(40人7学級)の入学生を迎えました。

本日、『万葉集』巻五に収められた天平二年(730)正月十三日、大宰帥大伴旅人邸での梅花の宴における梅花の歌三十二首の序文を典拠とする「令和」の時代を迎え、今後益々の本校の発展と卒業生の皆さまの御活躍を祈念いたします。

令和元年5月朔日

令和元年度 琴丘しらさぎ会総会のご案内

と き 令和元年9月1日(日)
と ころ 姫路商工会議所ホール 姫路市下寺町43 TEL.079-222-6001
会 費 4,000円(6,000円の内、本会負担2,000円)
参加お申し込み しらさぎ会 **FAX.079-290-5995**
ホームページ **http://www.shirasagikai.com**



スマートフォンや携帯電話からは左のQRコードからアクセスしてお申し込みいただけます。

※別紙にてお申し込みを兼ねたご案内をしていますので、ご利用下さい。(※お申し込み締切は令和元年8月20日(火)です。)

平成30年度 琴丘しらさぎ会総会報告 Generai meeting

平成30年度 琴丘しらさぎ会 総会

日 時 平成30年9月2日(日)
場 所 姫路商工会議所 ホール
時 程 13:20 理事幹事集合、13:40 幹事会、14:20 総会
15:00 基調講演、16:10 懇親会、18:00 閉会

【総 会】

1. 司会者・開会挨拶……………三浦 事務局長
2. 会長挨拶……………三木 会長
3. 学校長挨拶……………原 教頭
4. 議長選任(議長は会則の規定により三木会長)
 - 平成29年度事業報告……………和田 事務局長
 - 平成29年度会計報告……………細野 会計
 - 平成29年度会計監査報告……………毛利 監査
 - 平成30年度事業計画(案)……………和田 事務局長
 - 平成30年度予算計画(案)……………細野 会計
5. 閉会挨拶……………三木 会長

【事業報告書】(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- ① 学校活動に補助をしました。
 - 学校案内を印刷しました。
 - 恒例の中学生英語スピーチコンテストのしらさぎ会賞トロフィーを作製し贈呈しました。
 - 卒業アルバムの保存用分を購入しました。
- ② クラブ活動に補助しました。
 - 全国大会及び近畿大会出場に対して激励会及びのぼりの作製をしました。
 - 吹奏楽部の定期演奏会のプログラム作成に協賛しました。
 - 交際費として各期同窓会に補助金のお祝いをしました。
- ③ しらさぎ会のホームページを引き続き継続しています。
- ④ しらさぎ会総会及び役員会を開催しました。役員会は1月と7月。総会は9月3日姫路キャッスルホテルにて80名の参加でした。

平成29年度 琴丘しらさぎ会会計報告書 Financial report

〈平成29年4月1日～平成30年3月31日〉

収 入 の 部		
項 目	金 額	備 考
前 年 度 繰 越	10,614,554	前年度(中間)繰越 姫路信用金庫西支店普通預金
入 会 金	280,000	入会金 新入生 1,000円×280名
会 費	2,007,600	会費 月額 200円／1名当り
雑 収 入	5,000	同窓会名簿売上金
学 校 関 連 商 品	0	
校 歌 C D 販 売	140,500	500円×281名
寄 付 金	10,000	三戸敏子様よりしらさぎ会へ
預 金 利 息	74	預金利息
戻 し 入 れ 金	21,296	ゆうちょ銀行
収 入 合 計	13,079,024	

支 出 の 部		
項 目	金 額	備 考
学 校 補 助 金	256,800	印刷代(学校案内・卒業アルバム代・スピーチコンテスト)
クラブ活動補助金	115,000	全国および近畿大会激励金
同窓会補助金・慶弔費	20,000	同窓会祝金・香料
通 信 費	99,999	NTT回線使用料・インターネット通信
事 務 費	10,859	事務用品・活動費湯茶
国 際 交 流 費	10,980	旅行補助 他
ホームページ運用管理	115,020	HP制作会社 株式会社ドアーズ
会 報 印 刷 ・ 郵 送	2,243,991	大和美術印刷・サラト
会 議 費	232,512	総会費・会議費
会 費 返 却 分	400	同窓会費
次 年 度 繰 越	9,973,463	
支 出 合 計	13,079,024	

監 査 ／ [日付] 平成30年7月26日(木) [時間] 11:00～ [場所] しらさぎ会事務局
監査担当 ／ 毛利茂義・鎌谷正弘

同窓生だより Classmate news



「在近京同級生の集い」 のご紹介

北条 正之 さん
(昭和28年卒業・第5期生)

東京と神奈川、千葉、埼玉などの近郊に、琴丘高校第5期生(昭和28年卒)が十数名在住しています。その面々が還暦を迎えたころ、誰からともなく、「時々みんなが集まろうじゃないか」という話が持ち上がり、以来、毎年春と秋に顔を合わせるのが恒例になりました。

同級生の高見誠志郎氏が港区・虎ノ門に構えている会計事務所を集合の拠点にし得た幸いが、この集いの永続する大きな支えになっています。

体力にまだ不安のなかった60代には、夕食を賞味しながらの歓談や、時には泊付きの温泉旅行にも出かけましたが、70代半ばからは、年寄りの夜歩きを避けて昼食を囲む形に変わり、80代に入ってから、虎ノ門近辺の店に席が限定されてきました。

国語を教わった加藤淳二先生(東京在住)も列席されており、恩師の喜寿・米寿・卒寿をその都度の席でささやかに祝いました。

時には関西から飛び込みで参加してくれる友もいますし、1年先輩の元人事院総裁・中島忠能氏も数年前から参加されています。

残念ながら、この集いのメンバーから既に数人が旅立ち、また回を重ねるごとに、話題の比重が体調の劣化に傾きがちですが、令和への改元にあやかって、集いの新しい一歩を踏み重ねたいものです。



インタビュー ①

(琴丘 PTA 会報 No.53 より転載)

琴丘しらさぎ会 副会長
森 文予 さん(花柳芳文子)
(昭和46年卒業・第23期生)

❖ 高校時代についてお聞かせください。

「たたけよさらば開かれん」という新約聖書の言葉に出会ったことが自分が変わる大きなきっかけになりました。それまでの自分はおとなしくて静かな性格だったのが、その言葉を机の上に貼って毎日声に出して読むことによって、活発な性格に変わっていったように思います。

❖ 日本舞踊の道に進まれたきっかけは?

町内の公民館に日本舞踊の先生が来られていて、それをいつも見に行っていました。あまりにも熱心に見ていたので近所の方にすすめられ、日本舞踊の道に足を踏み入れることになりました。小さい頃から、日本舞踊に興味がありましたね。

❖ 日本舞踊について紹介してください。

日本舞踊と聞くと専門的な難しい踊りと思われるかもしれませんが、でも、着物の着付けや所作、それといっしょに日本の伝統的な文化を楽しみながら学ぶことができます。また、自分磨きにもなり、自分自身も心身ともに成長し、礼儀作法も身に着けることができます。それから、体全体を動かすので、バランスがよくなり筋肉もつき、体力作りには最適です。

❖ 日本舞踊の魅力とはどのようなものでしょうか。

日常生活をはなれ、いろんな人物になれること。例えば男にも女にもなれ、華やかな衣装を着れることです。扇子と手の動きだけで表現すること、日本人の四季を楽しむ心が表現できることなどです。踊っていると華やかな気持ちになれるので、私は踊ることがとても好きです。

それが、最大の日本の舞踊の魅力だと思います。

❖ 日本舞踊をされている中で一番印象に残っていることは何ですか。

平成29年8月27日、国立文学劇場の舞台に立てたことです。ここの舞台は他の劇場に比べて奥行きが深く大変踊りやすかったです。新曲の「浦島」を披露しました。家族や友人が、遠いところからもかけつけてくれ、応援してくれたことがとてもうれしかったです。約60年間日本舞踊を続けてきた充実感と感謝の気持ちがとても湧いてきました。

❖ 日本舞踊と子育ての両立についてお聞かせください。

出産前後5年間は子育てのため、日本舞踊から離れていました。子供が幼い頃は、一緒に連れて行ったり、母親に預けて練習に通っていました。しかし、公演の前だけは「母親をお休みします。」と家族に宣言して、公演の練習に没頭しました。私の生き甲斐でもある日本舞踊を続けていくためには家族の協力なしでは難しかったかもしれません。家族には大変感謝しています。母親が好きな事をして楽しんでいる姿は子供にもわかるので、自分のためだけに時間を使うことも大切な事だと思います。そうすることによって家の中が明るくなり、家族にとっても良いことだと思います。

❖ 今後どのような活動を続けていきたいと思われていますか。

多くの人に着物を身近に感じられるようになっていただきたいと思っています。日本舞踊を通じて皆さんがほっこりしたり笑ったりできるような場を作ることが一番の願いです。また、老人ホームなどを訪問して日本舞踊を披露していきたいと思っています。



「人生意気に感ず」

(平成29年9月3日総会にて)

講師 勝岡 郁夫 さん
(昭和38年卒業・第15期生)

人と人の出会いが人生を決める。昭和35年、琴丘高校に入学してやがて60年。古希を過ぎて今でも良き付き合いが続く同級生との出会いがありました。

仕事を通じて貴重な出会いがありました。市役所に勤務して10年目に企画課に異動。当時の課長から仕事に対する心構えを教えられました。

- 仕事にはどのような仕事にも「使命」がある。
- 「物事の本質は現場で見える」現場を知る事の重要性。

以来、使命感と現場主義を念頭に仕事と向き合いました。この事が生かされたのは、廃棄物・環境を担当する美化業務課長の時でした。記憶に残る二つの出来事をお話します。(紙面の都合上、詳細は割愛)

一つは平成5年の豊島の産業廃棄物不法投棄問題。小豆島の西にある豊島から廃油等が海に流出し問題が噴出。香川県から姫路港を経由して廃棄物が持ち込まれており、姫路市にも責任の一端があるとの連絡。これを受け、搬出業者等を徹底的に調査したところ、搬出物はリサイクル品として香川県から了解を得ていた事が判明。豊島へも3回足を運び現地調査を実施。大規模な野焼き跡にドラム缶等が散乱する酷い状況。現地の住



インタビュー ②

しらさぎマジック研究会
安田 二三男 さん
(昭和41年卒業・第18期生)



❖ 高校時代についてお聞かせください。

1年の時に生徒会「委員」をさせて頂きました。クラブ活動は少しだけテニス部、その後はブラスバンド部に入りました。楽器はアルトサックスをしていました。特に目立つ生徒ではなかった様に思います。3年は進学組「9組」に在籍していました。

❖ しらさぎマジック研究会とは?

平成21年6月にボランティア団体としてスタートしました。現在30名が在籍で年間を通じて150回以上のボランティアマジックの出演をしています。マジックを通じて地域社会に貢献していく事を目的に活動をしています。

❖ マジックをしようと思われたきっかけは?

以前に草刈りのボランティアを特養でしていた時に、その施設の長さんからマジックを覚えて施設で見せて欲しいと言われたのがきっかけで始めました。それまでは

民からは、何年も前から行政に苦情を訴えていたという証言ばかり。10数年もの間、現状を放置した香川県の不作為が大きな環境問題を引き起こしたのです。まさに、物事の本質が現場で見た事案でした。

二つ目は平成7年1月17日の阪神・淡路大震災。情報が錯綜する中、当日の昼前に飲料水だけを積んで姫路を出発。長田区に到着したのは午後7時。大火災と倒壊した建物を目の当たりにし唖然とするばかり。被害が明らかになるにつれ、事の重大さを突き付けられました。県下で機動できるのは姫路市との認識のもと応援体制を整えた。1月20日から長田区を中心に廃棄物処理班だけでも、毎日40～50名の職員を派遣。約70日間は現地でゴミとの戦いに明け暮れました。4月に入り阪神間の焼却廃棄物を網干港近くの空地へ荷揚げし、西播磨全体で処理。この時ほど使命感を駆り立てられた事案はありませんでした。

白秋世代を迎えた現在、趣味やボランティアをしながら、好奇心・向上心を忘れず生涯現役を目指しています。サミュエル・ウルマンの詩がこれからの生き方を示唆してくれます。「青春とは人生の或る期間をいうのではなく、心の様相をいう。人は希望ある限り若く、理想を失う時に初めて老いがくる。」(一部抜粋)

人生いろいろな出来事に遭遇しますが、人との絆を大切にし前向きに生きたいものです。本当に多くの方々との交流がありましたが、私にとっては琴丘高校38会の良き友との出会いこそが「人生意気に感ず」由縁ではないかと思う今日この頃です。

ほとんどマジックに興味もなかったですが、始めてみたらはまってしまいました。

❖ マジックの活動状況をお聞かせください。

現在の活動状況は会員が手分けをして依頼の有った所にマジック演技を披露しています。保育園・幼稚園・小学校・子供会・老人会・婦人会・デイサービス・老人ホーム・病院・祭り・養護施設・障害者施設とあらゆるところから依頼を頂いています。今後もボランティアマジックの依頼を受けたらすべて会員が手分けしてお応えしていきたいと考えています。会員の技術向上の為に、年一回発表会をしています。年々規模が大きくなり今年は文化センターで行いました。



変面ショー



☆マジックショーご依頼のお問合せは…
090-8211-0720 (安田携帯)



同窓生だより Classmate news



「あったかい琴丘の絆」

三村みさきさん(旧姓:水井)
(平成4年卒業・第44期生)

私が琴丘高校を卒業してから27年が経とうとしています。大学、就職、結婚、子育て…と、駆け足で時間を過ごしてきた気がします。高校時代は、良い友人に恵まれたこともあって「一瞬の3年間」という感覚です。あれからもう27年か…!?と再度指折り数えてみたくなりますが、鏡に映る自分の姿を見ると、残念ながらそうなのでしょう。4年前に初めて同

窓会に参加させて頂きました。学年が違っても、世代が違っても、自然と懐かしい話に花が咲きます。先輩方の楽しいお話や華やかな舞を拝聴、拝見しました。私には人に感動してもらえる話術も経験も、それに何の技もありますが、同窓会の場にいると、琴丘の卒業生であることを心から誇りに思えます。詰襟姿のイケメンはおられません、温かい雰囲気は琴丘高校そのものです。高校時代の思い出が、この年になってページを増やしています。

私達が入学したのが平成元年、今年は新たな時代の元年です。時代を超えて、琴丘高校の更なる発展を楽しみにしています。そして同窓会にたくさんの方が参加して頂けるようお願い致します。



「コットンで本当によかった!」

埼玉西部ライオンズ
藤原虹気さん
(平成17年卒業・第57期生)

2005年の琴丘高校卒業時より、(株)西武ライオンズにお世話になり、あっという間の14年目が終わりました。

選手としての4年間は高校3年時の事故による怪我の影響もあり、思うようにプレーの出来ない苦しい日々が続きました。また、プロ野球という高いレベルに食らいつくのには必死という毎日でもありました。しかし、現在のプロ野球を背負っている選手の方と対戦できたことは今となっては貴重な経験であり、いい思い出になっています。

引退後は球団に残り、チーム付マネージャーとして働いています。プロ野球は年間140試合以上あり半分は遠征となりますが、その際のホテル、移動(飛行機・新幹線・バス)、食事の手配を行うのが主な仕事です。ホテルの部屋割りや飛行機・新幹線の座席割りもすべて行います。また試合中はベンチに入り、スコアシートの記入や選手フォローも業務の一環です。チームには常に同行するので、遠征やキャンプ期間中は家族に寂しい思いをさせることもあります、非常にやり甲斐のある仕事だと感じています。

2018年シーズンは10年ぶりのリーグ優勝で大いに盛り上がりました。来シーズン以降もチームが円滑に試合へ臨めるように、また良い結果が残せるようにサポートしていきたいと思っています。

私は高校入学時にサッカー部へ入ろうか迷ったレベル。そんな私が運と縁に恵まれてプロ野球の世界へと

繋がったわけですが、その原点はやはり琴丘高校です。恩師や家族、そして互いに切磋琢磨できる仲間がいたからこそ成長できたと感謝しています。

最後に「コットンで本当によかった!」

恩師からのメッセージ



「当時を振り返って」

藤原虹気さんの恩師

姫路市立琴丘高校
野球部元監督 富浜久詞先生
(現飾磨高校 野球部監督)

190センチの長身。並んだ受験生の中では頭ひとつ飛び出して目立っていたのが、17年前の藤原虹気でした。「野球してたんやろ」入学後、声を掛けた私の言葉に返ってきた言葉が「サッカー部に入ろうか迷っています。」私の「ウチのサッカー部強い、大丈夫?」の問いかけに、「…」後日、「野球部にお世話になります!」で始まったのが彼との出会いでした。

入部後、努力を重ねメキメキと能力を開花、2年の秋頃からプロのスカウトの目に留まるようになりました。そして、春には強豪校を倒し県ベスト8へ。甲子園が見えてきた感じがしました。ところがその矢先、彼は不慮の交通事故により長期の入院。チームはエースを失いました。その中で「琴丘は藤原だけじゃない。」「虹気を甲子園に連れて行こう」が自然と合言葉になり、25年ぶりのベスト16入りとなりました。11月には西武ライオンズからドラフト指名され、念願のプロ野球選手となりました。現役生活は4年間でしたが、人柄を買われてマネージャーに就任。今年メジャーデ

ビューした菊池雄星の世話係をするなど、選手・監督からの信頼は絶大です。私は毎年、春のキャンプにお邪魔していますが、その働きぶりには頭が下がる思い

「平成29年卒業生同窓会開催」

安藤克茂さん(平成29年卒業・第69期生)

平成31年1月13日、ラヴィーナ姫路にて170名に及ぶ卒業生が集い、普通科69期生、国際文化科12期生の同窓会を開催しました。

また、在学時にお世話になった学年主任の松本先生をはじめ、11名の先生方の御臨席を賜り、会に花を添えていただきました。

卒業から2年の時を経て、級友の顔を久しぶりに見ると、思い出話が一気に盛り上がり、会場は終始笑い声に包まれました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、

「全国高校ダンス部選手権大会に参加して」

柴田梨帆さん(平成31年卒業・国際文化科第14期生)



私が第11回全国高校ダンス部選手権の全国大会に参加して学んだことは“ダンスは楽しい”ということです。初めての全国大会は驚きの連続でした。会場の高い天井、3階まである客席、照明や撮影するための器具、スモークのかかったステージを見て、鳥肌が立つ感覚、緊張に勝つほどの興奮はわすれられません。それと同時に、今まで私が部活を続けてこられたのは、仲間と踊るダンスが“楽しかった”からなんだ。この最高のステージで、このメンバーで練習に励んだダンスを踊れるんだ、そう思うと感謝の気持ちで胸がいっ

です。選手としての花は咲かせなかったかもしれないが、社会人のレギュラー選手と活躍する彼を誇りに思います。これからのご活躍を祈念しています。

皆、名残惜しそうに会場を後にしました。数年後、必ず第2回の同窓会を行いたいと思います。



ぱいになりました。全国に出たい、良い成績を残したいと思って細かいところを揃えたり、何度も通し込みをしている日々の練習では、「ダンスを楽しむ」とは程遠い気持ちになっていました。しかし、本番はこれまでの練習と仲間を信じて、程よい緊張感の中、ステージを全力で楽しむことができました。3年間の集大成で、一番大切なのは気持ちで踊ること。それは、“ダンスを楽しむ”ということなんだと実感しました。



掲示板

この春、琴丘高校を卒業し、新たにしらさぎ会に加わることになりました。琴丘高校在学中は、とても濃密な3年間でした。校長先生をはじめ先生方や大好きな仲間たちに出会うことができ素敵な思い出ができました。歴史ある琴丘高校を卒業したことを誇りに思います。今後は、しらさぎ会の活動を通じて母校の役に立っていくことができれば幸いです。また、それぞれの夢に向かって立派な大人に成長していきたいと思っています。

平成31年卒業生 学年幹事 藤岡 優・前田紗也香